

指定管理業務評価表

施設名	小牧市西部コミュニティセンター		
対象年度	平成 30 年度	評価担当部	市長公室
指定管理者名	小学館集英社プロダクション・ダイケングループ (法人番号：9010001018924・9010001122288)		
指定期間	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日		
職員体制	常勤職員：3人 非常勤職員：7人 合計：10人		

1. 利用実績

(1) 利用者数

	施設利用者	個人利用者	自由来館者	合計
4月	13,550	50	3,054	16,654
5月	11,258	60	2,902	14,220
6月	12,046	47	3,802	15,895
7月	12,963	61	3,103	16,127
8月	11,830	79	4,779	16,688
9月	12,747	31	2,969	15,747
10月	12,350	75	3,539	15,964
11月	13,060	43	3,186	16,289
12月	10,981	29	3,136	14,146
1月	12,881	53	3,822	16,756
2月	13,226	54	3,733	17,013
3月	12,072	62	3,638	15,772
合計	148,964	644	41,663	191,271

(2) 増減要因

平成 30 年度の合計利用者数は 191,271 人と前年度と比較して▲11,516 人（▲5.7%）と減少する結果となった。

減少の要因としては免除団体や趣味のサークル活動などの活動頻度の低下、エントランスロビー等で滞在される自由来館者の減少、さらには夏から秋にかけての記録的な猛暑やゲリラ豪雨、大型台風の発生などの気象条件につい

ても、郊外という立地からマイナスに働きやすいと考えられる。

一方で、運営協議会等との連携によって実施されている各種行事・イベントの参加人数は順調であり、実施方法の見直しなどにより、昨年度から 300 名以上増加している行事もある。

このことから今後も魅力的な行事・イベントの企画と複数の媒体を活用した幅広い広報で、施設利用者の維持・回復に努められたい。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	平成 30 年 6 月	回答数	275 名
	平成 30 年 11 月		196 名
利用者の 主な意見	イベントの告知等はもう少し早めにしてもらえると助かります。		
具体的な 対応状況	チラシや館内掲示に加え、広報こまき、施設のホームページ等で遅くとも 1 ヶ月前には告知するように努めます。		

3. 収支の実績

(単位：千円)

		29 年度 (現年決算額)	30 年度 (現年決算額)	令和元年度 (翌年予算額)	備 考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	36,196	38,748	40,525	
	事業収入	0	0	0	
	合計	36,196	38,748	40,525	
支 出	人件費	14,179	18,079	18,919	
	旅費	20	39	46	交通費等
	需用費	8,051	8,125	8,263	光熱水費・修繕費等
	役務費	463	567	504	通信費・手数料等
	委託料	6,551	5,688	5,882	清掃警備委託等
	使用料及び 賃貸料	1,067	825	1,031	借上料、受信料等
	その他	5,865	5,425	5,880	間接費等
	合計	36,196	38,748	40,525	

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	協定書、事業計画書に沿った施設管理が実施されている。
維持管理業務	<p>休館日等を利用して設備点検や害虫駆除などの維持管理業務が計画どおり実施されている。</p> <p>清掃管理については、業務委託による清掃のほか、施設職員により日頃から清潔な施設を保つよう努められており、利用者アンケートにおいても良い評価が得られている。</p> <p>施設の安全管理については、施設職員による自主点検が定期的に実施されており適正に管理されている。</p>
自主事業	<p>既存事業の継続実施に加え、「そば打ち」と「婚活」を組み合わせるなど意外性のある事業や「ビタミンパレット」をはじめとする新規事業の企画にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>さらには災害時の一時避難所として、他の施設に先駆けて「避難所宿泊体験」を実施されるなど地域の安全に資する取り組みが企画されていることも評価できる。</p> <p>引き続き、各行事の実施にあたっては、地域と連携のうえ、施設利用者の増加に繋がるような魅力的な事業の企画・実施に努めること。</p>
サービスの質	利用者アンケートの結果から利用満足度のほか、職員の対応や施設設備についても利用者から良い評価が得られている。今後も利用者がより快適に利用できる施設となるようサービスの質の向上を図るよう努めること。
収支状況及び経費節減	収支状況については、一部の費目において流用があったが、計画的かつ適正に執行されている。引き続き、節電対策等の取り組みにより経費節減に努めること。
その他 (緊急時の対応等)	危機管理マニュアルの更新や普通救命講習、不審者対応訓練など緊急時対応に関する施設職員の研修が計画的に実施されている。また、運営協議会や地域住民と連携した防災訓練や防犯活動の実施など、地域と連携した安全管理体制が構築されている。